

## 変形性肩関節症と腱板断裂性関節症患者の臨床的特徴の相違点

### 1. 研究の対象

2016年3月から2022年6月末まで当院で初回人工肩関節置換術を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

一次性変形性肩関節症の病態は、腱板断裂性関節症に比して、その発症や増悪のメカニズムは明らかでない部分も多いため、危険因子や背景因子を特定し、治療方針決定の基準を明確にすることは重要です。研究実施期間は倫理委員会承認日から2024年6月30日までになります。方法は電子カルテを用いて、診療情報の抽出を行います。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、患者背景、健側および患側のX線画像、血液検査結果、関節液検査結果

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知県南国市岡豊町小蓮 185-1

088-866-5811

高知大学医学部附属病院整形外科学講座 尾崎一規

研究責任者：

高知大学医学部附属病院整形外科学講座 泉仁

-----以上